令和６年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	１２	学 校 名	畝傍高等学校

１．事業内容について

取組・活動・事業名等	畝高イルミネーション
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	特別活動（生徒会活動） 学校生活の充実を図るために計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることによって自主的、実践的に取り組む態度を養う。
連携・協働相手	橿原市社会福祉協議会、晩成ふれあいサロン
地域と共有している目標・課題等	学校活動や通学路でお世話になっている地域の方々と交流を図り、学校の取組を知っていただくとともに日頃の活動に協力していただいていることに対する、感謝の気持ちを伝えた。

取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）

生徒会役員が中心となり、イルミネーションのレイアウトを考え、校舎正面玄関付近にイルミネーションを設置した。一週間程の期間を設けて、夕方に点灯し来校される保護者や地域の方々に見に来て頂く機会を設けた。橿原市社会福祉協議会と連携し、地域の高齢者サロン運営団体にも案内した。点灯の初日は点灯式を行い、音楽部の生徒によるミニコンサートを実施した。

２．事業の成果と課題

イルミネーションは生徒、保護者、地域の方に大変喜んで頂くことができ、学校の魅力を発信することができた。来校された方との交流を通して、学校が地域に根付くものであり、学校に対してとても関心をもって頂いていることを生徒が気付くきっかけとなった。

三者懇談、冬期休業中の時期での実施であったため、夕方まで活動している生徒は見る機会があったが、それ以外の生徒は見る機会が少なくなってしまった。もう少し時期を早め、３年生も含めた全校生徒が見ることのできる時期に実施することも検討したい。